

包括協定に基づく海外旅行傷害保険の申込み要領

【留学対象】

次の学部生・大学院生の留学を対象とする。

1. 本学が所管する大学間協定による派遣留学
2. 本学の学部・研究科が所管する学部間協定による派遣留学
3. 本学が所管するサマープログラム、スプリングプログラム、セメスタープログラム
4. 本学が所管する「海外活動を伴う正課科目履修者に対する奨学金」が適用される留学
5. 本学が所管する上記 4. 以外の正課科目での海外活動
6. 本学が所管しない、個人で手配する語学留学・学部留学（休学留学も含む）
7. 本学が所管しない、個人で手配する海外でのインターンシップ、ワーキングホリデー、ボランティアなど、現地での実地体験を目的とした留学
8. 本学公認団体が本学今出川校地学生支援課又は京田辺校地学生支援・スポーツ支援課に申請し、海外で実施する課外活動

※留学対象 6・7 について、「留学」が主目的であることを要するため、「留学」に行くことの証明書類を別途必要とする。証明書類が無い場合は、当保険に加入することはできない。

※留学対象 6・7・8 について、留学期間の前後合わせて 2 週間以内に日本を出入国すること。

【申込方法】

留学対象 1・2：

様式 1 にて、記入要領 1 に従い申込書を作成し、同志社エンタープライズ(株)に提出すること。

留学対象 3・4：

大学からまとめて加入を行うため、個人での申込みは不要。

留学対象 5：

様式 2 にて、記入要領 2 に従い申込書を作成し、同志社エンタープライズ(株)に提出すること。

留学対象 6・7：

様式 2 にて、記入要領 3 に従い申込書を作成し、同志社エンタープライズ(株)に提出すること。

また、「留学」に行くことの証明書類として、次のいずれかを合わせて提出すること。

(a) 業者のパッケージで留学する場合

業者への申込書（写）。留学期間が明記されていること。申込書に留学期間の記載がない場合には、合わせてパンフレット等、行程のわかる書類も添付すること。

(b) 個人で手配する場合（留学先が学校の場合）

先方の入学許可証(写)を添付すること。なお、入学許可証には必ず留学期間の記載が必要。
複数にわたる場合は全ての入学許可証を添付すること。

(c) 個人で手配する場合（留学先が機関・個人の場合）

先方の受入許可証(写)を添付すること。なお、受入許可証には必ず留学期間の記載が必要。
複数にわたる場合は全ての受入許可証を添付すること。

※上記書類が揃わない場合、「留学に行くこと」「留学期間」の確認ができないため、当保険の加入はできない。

留学対象 8：

様式 2 にて、記入要領 4 に従い申込書を作成し、今出川校地学生支援課又は京田辺校地学生支援・スポーツ支援課に提出している「遠征届」(写)を合わせて同志社エンタープライズ(株)に提出すること。

【その他】

保険プラン・保険料はパンフレット又は“Go Global”ポートフォリオで確認すること。

以上

記入要領1 例：留学対象2の場合

【記入例】学部／研究科間協定による派遣留学で留学する場合

留学先 (国・大学名)	(国名) フランス (大学名) ●●大学
派遣留学の種類 (必ずチェック)	☐ 大学間協定による派遣留学 ☒ 学部／研究科間協定による派遣留学

※様式1を使用すること。

※大学間協定による派遣留学か、学部・研究科間協定による派遣留学か、明確にすること。

記入要領2 例：留学対象5の場合

【記入例】授業の一環として、海外でフィールドワークを行う場合

留学先 (国・大学名)	(国名) アメリカ (大学名) ●●大学
留学の目的 (該当するものにチェック)	☐ 大学や大学付属機関における研究、教育、学習
	☐ 民間の語学学校での語学研修
	☒ 同志社大学の授業の一環として単位が付与される、現地での教育実習、研修、学会、シンポジウム等への参加 (授業名： 担当教員：)
	☐ 同志社大学の単位が付与されない、現地での教育実習、研修、学会、シンポジウム等への参加
	☐ 現地企業や日本関係機関でのインターンシップ、ワーキングホリデー、ボランティア
	☐ 本学公認団体が今出川校地学生支援課又は京田辺校地学生支援・スポーツ支援課に申請し、海外で実施する課外活動
留学期間中の休学有無	☐ 休学する ☒ 休学しない

※様式2を使用すること。

※科目登録データと照合する場合があるため、授業名・担当教員名は正確に記載すること。

【記入例】休学して海外の語学学校に留学する場合

※受入学校である●●語学学校からの入学許可書等を添付すること。業者を通して手配する場合は、業者への申込書でも可。いずれも留学期間の記載があること。

【記入例】休学をせずに夏期休暇等に NGO 法人で海外ボランティアとして留学する場合

※ボランティア受入先である NGO 法人●●からの受入許可書等を添付すること。業者を通して手配する場合は、業者への申込書でも可。いずれも留学期間の記載があること。

【記入例】公認団体の課外活動として、休学をせずに夏期休暇等に NGO 法人で海外ボランティアとして活動する場合

留学先 (国・大学名)	(国名) ア メ リ カ (大学名) NGO法人●●●
留学の目的 (該当するものにチェック)	☐ 大学や大学付属機関における研究、教育、学習
	☐ 民間の語学学校での語学研修
	☐ 同志社大学の授業の一環として単位が付与される、現地での教育実習、研修、学会、シンポジウム等への参加 (授業名： 担当教員：)
	☐ 同志社大学の単位が付与されない、現地での教育実習、研修、学会、シンポジウム等への参加
	☐ 現地企業や日本関係機関でのインターンシップ、ワーキングホリデー、ボランティア
	☒ 本学公認団体が今出川校地学生支援課又は京田辺校地学生支援・スポーツ支援課に申請し、海外で実施する課外活動
	留学期間中の休学有無

※今出川校地学生支援課又は京田辺校地学生支援・スポーツ支援課に提出する「遠征届」のコピーを添付すること。